

アービタックス+mFOLFOX6療法

FN 低:催吐性 中
診断名:進行大腸癌

○投与スケジュール (1 コース 28 日)

Day1,8,15,22(点滴):アービタックス div 250mg/m²、400mg/m²(初回投与のみ)

Day1、15(点滴):エルプラット(L-OHP) div 85 mg/m²

Day1、15(点滴):レボホリナート(I-LV) div 200 mg/m²

Day1、15(点滴):フルオロウラシル div 400 mg/m²

Day1~2、15~16(持続静注):フルオロウラシル continuous civ 2400 mg/m²(全体量)

Day2~Day3、 Day16~Day17 デカドロン8mg 分 2 朝・昼の内服

○注意事項

アービタックス特有の有害事象:インフュージョンリアクション 10%程、皮膚症状(ざ瘡様皮疹、爪
囲炎等) 80~90%下痢 50%、電解質異常 30~40% 他

頻度が少ないが注意を要するもの: 間質性肺炎、眼障害、心障害

インフュージョンリアクション

多くは初回投与中又は投与終了後1時間以内に出現

★エルプラット注:アレルギー発現注意!! 累積投与量が 401mg/m² 以上 or 半年以上休薬
あり再投与する場合は重篤なアレルギー反応を惹起する可能性あり。再投与の意義がリスク
を上回ると考えられる場合は、前投薬の強化などを考慮する。

<強化例> 前投薬にファモチジン注 20mg を追加

2019 年 9 月 2 日より施行

#

アービタックス、ベクティビックスの 皮膚障害を軽減する薬セット

★予防のミノマイシンについては、主治医の判断で処方をお願いします。また、処方される場合は2週間程度の処方とし、定期的な採血と副作用のチェックをお願いします。

< 予防または治療に使用する薬 >

Rp1. ミノマイシン錠 又は ミノマイシンカプセル
1回 50 mg 1日 2回 朝夕食後（治療当日より）
1回 14日分程度処方し、定期的な副作用チェックをお願いします。

[相互作用]：金属カチオン（Mg, Ca, Al, Fe等）と同時服用した場合、キレート形成し

ミノマイシンの薬効が低下します。2時間程度ずらして服用すれば大丈夫です。同時服用薬剤にご注意をお願いします。

**Rp2. ヘパリン類似物質クリーム 又は
ビーソフテンローション**
1日 2～数回 乾燥しているところ（治療当日より）

< 症状が出たら使用する薬 >

Rp3. ロコイド軟膏（マイルド）
1日 2回 朝夕 顔

Rp4. マイザー軟膏（ベリーストロング）
1日 2回 朝夕 顔以外